



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場会社名 株式会社 魚力 上場取引所 東
コード番号 7596 URL <https://uoriki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 隆英
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 尾後貫 隆 TEL 042-525-5600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	27,747	2.3	1,235	△5.5	1,752	7.7	1,139	8.5
2024年3月期第3四半期	27,136	6.0	1,307	57.4	1,627	51.3	1,050	46.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 894百万円 (△20.7%) 2024年3月期第3四半期 1,128百万円 (46.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	81.63	—
2024年3月期第3四半期	75.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	22,734	17,383	76.5
2024年3月期	21,398	17,250	80.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 17,383百万円 2024年3月期 17,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	24.00	—	28.00	52.00
2025年3月期	—	26.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,600	3.5	1,630	3.0	2,030	△0.4	1,310	△3.8	93.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	14,620,000株	2024年3月期	14,620,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	664,809株	2024年3月期	666,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	13,954,558株	2024年3月期3Q	13,953,269株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を受け個人消費、また、好調な企業収益などを背景とした設備投資を起点に緩やかに回復いたしました。しかしながら、一方で、物価上昇による消費マインドの低下や円安、一部の業種におけるコスト増加による企業業績の悪化、中国経済の減速など、景気下振れ要因が多く見られます。収束を見通せないウクライナ情勢や中東情勢は景気の先行きに関する不透明感を濃くしております。

水産業界におきましては、地球的規模で地上からの供給に代わるタンパク質の供給源として、また、国内外において広がる健康志向などから、養殖業を含む水産業、また、水産物に対する注目度は高まっております。しかしながら、海外で高まる水産物需要・わが国では地球温暖化が原因とも言われる不漁による魚価高騰、物流をはじめとする諸コスト増大など、当社を取り巻く経営環境はたいへん厳しい状況にあります。更に、2023年8月末より開始された東京電力福島第一原子力発電所処理水放出を発端とする、中国による日本産水産物禁輸措置長期化の影響が懸念されます。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、新たに策定した中期経営計画（2024－2026年度）の下、国内事業の着実な成長と海外事業の拡大をめざし、仕入、販売、海外、人財、財務、地球環境といった分野における基本戦略に取り組んでまいりました。

このような中、第3四半期累計の既存店売上高が前年を上回りましたが、これは消費者の消費マインド、購買力が相応に高まったことを踏まえ、商品調達をはじめ諸コストの上昇を適切に売価に反映したこと、前年度出退店同数ながら、経営資源を効率的に活用できる最適な店舗ポートフォリオ（筋肉体質の店舗網）の構築を念頭に戦略的に出退店を行った効果が現れたものと考えております。

この間、小売事業で2店舗を出店し、当第3四半期連結累計期間末の営業店舗数は94店舗となりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は277億47百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は12億35百万円（前年同期比5.5%減）、経常利益は17億52百万円（前年同期比7.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億39百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業では、新たなバイイングパワーの構築に力を注ぎ、魚種の豊富さや旬を意識した仕入れを行い、鮮魚専門店ならではのにぎわいのある売り場作りを実施いたしました。また、商品に付加価値をつけ差別化を図るとともに、特に生ネタ寿司の販売を強化いたしました。一方で、仕入・物流コストの増加に加え賃上げによる人件費の増加に対応するため、店舗ごとの新たな繁閑状況に応じた人員配置の下、作業オペレーションの統一化など運営の一層の効率化、資材の絞り込みなど徹底したコスト削減に取り組むと共に、適正な売価の検討を行いました。また、いわゆる2024年問題に対応するため、配送ルートの組み換えや積載効率の向上による減車など配送コストの削減に取り組みしました。

新店は、2024年7月に埼玉県道54号線沿いの「ロヂャース八潮店」内に「魚力市場八潮店」（埼玉県八潮市）、11月にJR高崎線桶川駅に隣接する「東武ストアおけがわマイン」内に「桶川店」（埼玉県桶川市）を開店しております。

この結果、売上高は237億80百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は14億20百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

②飲食事業

飲食事業では、社会活動・経済活動の正常化やインバウンド需要の高まりなどによる来店客数の増加が後押しとなり、売上高が前年度に比べ増加いたしました。また、原材料費などの上昇に伴いメニューや価格設定の見直しを行うと共に、店舗オペレーションの見直しや物流の合理化を含む構造改革に取り組んでおりますところ、一定の効果を上げております。これにより、粗利益額が増加し、人件費をはじめとする店舗運営コストを吸収することができました。

この結果、売上高は11億51百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は10百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

③卸売事業

卸売事業では、子会社の魚力商事株式会社が、アジアにおいて新規取引先の開拓に取り組んでおりますところ、2023年5月に設立した合弁会社のCP-Uoriki Co., Ltd. が、2024年12月までにタイ国内各地の大型ショッピングモールなどに鮮魚と寿司の小売店舗を25店舗オープンしたことから、これら店舗向けの輸出を伸ばしております。一方で、中国向けの販売が日本産水産物の禁輸措置の継続により回復していないなど海外向け販売全体での売上高は前年に比べ減少いたしました。国内では飲食店舗向けの売上を伸ばしております。また、人件費や仕入・出荷に付帯する費用など販管費は増加いたしました。

この結果、売上高は27億64百万円（前年同期比13.0%減）、営業利益は28百万円（前年同期比81.4%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は137億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億78百万円増加いたしました。これは主に売掛金が15億72百万円増加したことによるものであります。固定資産は90億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億58百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が5億64百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は227億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億36百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は50億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億85百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が15億7百万円増加したことによるものであります。固定負債は3億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が26百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、53億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億2百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は173億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億33百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が3億85百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は76.5%（前連結会計年度末は80.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2024年7月31日の「2025年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,091,816	7,503,472
売掛金	3,405,737	4,978,540
商品及び製品	289,387	456,885
原材料及び貯蔵品	13,734	10,475
その他	143,777	773,414
流動資産合計	12,944,452	13,722,789
固定資産		
有形固定資産	1,053,322	1,053,584
無形固定資産	25,488	22,166
投資その他の資産		
投資有価証券	5,568,572	6,133,305
その他	1,806,452	1,803,192
貸倒引当金	△250	△250
投資その他の資産合計	7,374,774	7,936,248
固定資産合計	8,453,585	9,011,999
資産合計	21,398,038	22,734,789
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,309,491	2,816,912
未払法人税等	436,792	132,389
賞与引当金	485,176	180,904
その他	1,609,583	1,895,841
流動負債合計	3,841,043	5,026,047
固定負債		
退職給付に係る負債	19,707	14,587
資産除去債務	235,356	261,534
その他	51,792	48,636
固定負債合計	306,856	324,758
負債合計	4,147,899	5,350,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,470,505	1,472,107
利益剰余金	14,281,486	14,667,032
自己株式	△960,617	△958,454
株主資本合計	16,354,994	16,744,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	902,021	642,891
為替換算調整勘定	1,133	12,697
退職給付に係る調整累計額	△19,158	△15,910
その他の包括利益累計額合計	883,996	639,678
非支配株主持分	11,148	—
純資産合計	17,250,138	17,383,983
負債純資産合計	21,398,038	22,734,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	27,136,016	27,747,019
売上原価	16,291,617	16,561,434
売上総利益	10,844,399	11,185,585
販売費及び一般管理費	9,537,138	9,950,242
営業利益	1,307,261	1,235,343
営業外収益		
受取利息	6,826	9,930
受取配当金	147,264	128,326
為替差益	15,059	2,384
デリバティブ評価益	—	10,214
投資有価証券売却益	154,527	287,707
持分法による投資利益	—	39,833
貸倒引当金戻入額	723	—
その他	23,214	38,720
営業外収益合計	347,616	517,117
営業外費用		
デリバティブ評価損	3,593	—
投資有価証券評価損	500	—
持分法による投資損失	23,196	—
営業外費用合計	27,290	—
経常利益	1,627,586	1,752,461
特別利益		
固定資産売却益	0	300
特別利益合計	0	300
特別損失		
為替換算調整勘定取崩損	—	6,604
固定資産除却損	1,037	1,121
減損損失	36,748	43,866
特別損失合計	37,786	51,591
税金等調整前四半期純利益	1,589,801	1,701,169
法人税、住民税及び事業税	465,380	405,892
法人税等調整額	77,354	155,968
法人税等合計	542,735	561,860
四半期純利益	1,047,066	1,139,309
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,199	225
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,050,266	1,139,083

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,047,066	1,139,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71,202	△259,129
為替換算調整勘定	525	6,721
退職給付に係る調整額	9,646	3,247
持分法適用会社に対する持分相当額	△387	4,843
その他の包括利益合計	80,986	△244,317
四半期包括利益	1,128,052	894,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,131,252	894,765
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,199	225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収 益	22,854,619	1,056,843	3,176,095	27,087,558	48,457	27,136,016	—	27,136,016
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	22,854,619	1,056,843	3,176,095	27,087,558	48,457	27,136,016	—	27,136,016
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	47,107	47,107	13,950	61,057	△61,057	—
計	22,854,619	1,056,843	3,223,202	27,134,666	62,407	27,197,074	△61,057	27,136,016
セグメント利益 又は損失(△)	1,341,803	△3,185	154,611	1,493,229	25,393	1,518,623	△211,362	1,307,261

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△211,362千円には、セグメント間取引消去△149千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△211,212千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収 益	23,780,790	1,151,254	2,764,166	27,696,210	50,808	27,747,019	—	27,747,019
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	23,780,790	1,151,254	2,764,166	27,696,210	50,808	27,747,019	—	27,747,019
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	93,763	93,763	20,554	114,318	△114,318	—
計	23,780,790	1,151,254	2,857,929	27,789,974	71,363	27,861,337	△114,318	27,747,019
セグメント利益	1,420,397	10,645	28,689	1,459,732	30,950	1,490,682	△255,338	1,235,343

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
2. セグメント利益の調整額△255,338千円には、セグメント間取引消去△222千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△255,116千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	166,321千円	155,805千円